

# 利用ガイド

## 1 英語でHi! みんな友だち / Hi! I'm Yuji. Nice to meet you.



### ポイント

人と人とのコミュニケーションはあいさつから始まります。こわがらずに英語であいさつをしてみましょう。そこから、アメリカやイギリスの人だけではなくて、世界のいろいろな国の人と友だちになれる可能性が広がっていきます。

### 関連表現・活動

- ・友だちと英語で自己紹介をし合おう。
- ・自分の町に暮らす外国の人とあいさつをしてみよう。
- ・世界のいろいろな国では、何とあいさつするのか調べてみよう。

### 番組の内容

#### [スキット1] ユージ、マイケルとジャニカに会う。

- ・始めて会った人には、まずあいさつ。  
英語では何て言うのかな？
- ・外国人のあいさつをよく聞いて、真似してみよう。
- ・外国人に自己紹介してみよう。

- ・ - Hi, I'm Janica. Nice to meet you.
- ・ - Hi, I'm Yuji. Nice to meet you, too.

#### [TVタイム] 世界のあいさつ

- ・世界の各国には、いろいろな言葉があって、いろいろなあいさつがあります。
- ・この人はどこの國の人でしょう？国旗がヒントです。

#### [スキット3]

- ・英語であいさつができるれば、いろいろな国の人と友だちになれるはず。
- ・世界の人をいっぱい集めて、一緒に「あいさつゲーム」をしよう！

#### [スキット2] “自己紹介ゲーム”

- ・友だちと一緒に、動物や仕事をする人になったつもりで「自己紹介ゲーム」をしよう。
- ・動物の鳴き声は英語で何て言うのかな？

- ・ - Hi, I'm a lion. I'm from Africa.  
Nice to meet you,
- ・ - HI, I'm a nurse. I'm from a hospital.  
Nice to meet you.

- ・ - My name is Ada. I'm from Chile. Nice to meet you.
- ・ - My name is Xiao-rui. I'm from China. Nice to meet you.

## [ミニ・ユージ] あいさつできるかな？

- ・インター・ナショナル・スクールへ行って、外国の子どもたちとあいさつをしてみよう。
- ・世界の国の人びとの名前はさまざま。相手の子どもは何という名前か、よく聞いてみよう。

## 指導上の参考

### 番組の視点

あいさつをするときのしぐさは、いろいろな国・文化によって異なる。番組の中で、あいさつをしている人たちの表情や動作に注目してほしい。お辞儀をする人、握手をする人、抱き合っている人、それぞれに会えた喜びを表現している。私たちが、外国人の人と英語を使ってあいさつするときに注意したいことは、互いに目線をそらさないこと、握手をするときにはしっかりと握り返すこと、そしてあいさつの言葉をしっかり声に出して言うことである。外国人の名前は聞き取りにくい。日本人の名前も相手にとっては同じことなので、ゆっくり、はっきりと発音したい。聞き取れなかつたときには、あなたの名前を覚えたい、という気持ちを込めて遠慮せず聞きなおしてみるといい。決して恥ずかしいことではない。

### Nice to meet you.

会えてうれしい、という気持ちを伝える言葉。この他にも、I'm glad to meet you.とか、少し改まって、How do you do?とも言う。しかし、「ごあいさつは？」と親に促されて、Hi.と言うのがやつとの子どもがいるのは古今東西同じである。

### お国は？ Where are you from?

外国人と初めて会うと、どこの国から来た人なのか気になるもの。Where are you from?と尋ねると、相手はI'm from India.のように自分の生まれ育ったところを教えてくれる。日本人が日本にいながら、外国人にI'm from Japan.というのは不自然なので、現在住んでいるところを伝えたいときは、I live in~.を使う。（第6回）

### I'm from ~. / It's from ~.

輸入された衣類や食品などについて発展的なやりとりができる。スーパーなどで商品を調べて発表すると、It's from India / China / the U.S.A.などと世界をまたにかけた流通を学ぶことができる。

### いろいろなあいさつ

日本語でも英語でも、あいさつにはそれぞれのルールがあり、使い分けるのは難しい。

- **Hi! , Hello!** : こんにちは！とほぼ同じように使われる。年齢の差はないが、大人では親しい人どうしが使い、改まった場では使わない。
- **Good morning. , Good afternoon. , Good evening.** : それぞれ午前中、午後、夕方の時間帯にも使われるが、時と場合によっては別れのときにも使うことがあるので、注意したい。

- - **Good night.** : おやすみなさい。就寝のあいさつ。
- - **Good-bye.** : さようなら。毎日のように会う人に対しては、See you tomorrow. See you soon. Take care. (お大事にという気持ちを込めて) などと言う。



### あいさつには名前などをつけて

- - Good morning, **everyone**.
- - Good afternoon, **class**.
- - Good-bye, **Michael**.



### 活動例

- (1)いろいろな国のおいさつを覚える。
- (2)国旗の描いてあるカードを一か国につき数枚ずつ（子供の人数の半数以上になるくらい）用意する。
- (3)たとえば、先生が、“ナマステ！”とあいさつを大きな声で言ったら、子どもたちも“ナマステ！”と言いながら、その国の国旗のカードをかるた取りの要領でとる。
- (4)慣れてきたら、子どもがリーダーになってゲームをしてみる。

